学校ビオトープの製作と利用

神戸市立鹿の子台小学校 藤井 昭義

Making and Using of School Biotope

Akiyoshi FUJII

Kanokodai Elementary School

Key Word: School Biotope, Using of Biotope

1. はじめに

学校ビオトープの設置は最近始まったばかりで 施工法や利用法に関しては不明な点が多い。学校 ビオトープへの誤解や設置の遅延を生ぜしめてい る所以でもある。

そこで、筆者は、神戸市立鹿の子台小学校における総合ビオトープの施工や利用例を基にして、 学校ビオトープの定義、目的、特性、種類、製作・利用・管理上の留意点、年間使用計画、利用法 等について研究した。次にその要点を記す。

2. 設計・製作に関して

①利用機会・利用価値を増進するためには、ねらいを明確に持ち、利用価値の高い、多機能タイプのビオトープを造るのが有効である。また、一定以上の規模を持たせたり多様なビオトープを組み合わせたりすることも有効である。小規模では、生態面でも利用面でも制約が多く、児童の関心も薄れがちである。

本校では、メイン、サブ、サテライトのビオトープ20施設を設けた。また、約800平米の観察ゾーン内に設けられたメインビオトープは、水田、水遊び、古代等、8ゾーンに分かれている。

- ②児童の視線が水面等に近くなるよう、観察しや すいように施工したい。観察デッキ、橋、観察道 等を設けることは有効である。
- ③安全面での配慮も忘れてはならない。水深を深 くしすぎないように設計したい。

3. 利用、教材面に関して

①ネットワーク化(生態面) された総合(多機能) ビオトープは、多様な教科で、体験的な利用がで きる。総合的な学習に適している。

- ②ビオトープは、生命とのふれあい・体験学習の 単元・領域での利用に適している。また生命との ふれあいを核にして、クロスカリキュラムを構築 したり、環境教育や防災教育で横断的・総合的な 学習を計画したりすることにも適している。
- ③学校ビオトープは、意図的に動植物が整備されているため、計画的な利用ができる。継続観察の単元にも適していると言える。
- ④各教科・領域ごとのビオトーブ年間利用計画や 教材(指導案、クロスカリキュラムを含む)を整備することで、利用機会が増す。

4. おわりに

学校ビオトーブを更に発展させていくには、設備面では、各校が、確かな設計ポリシーを持ち、機能面・規模面も含め、学校ビオトーブとしてクオリティーの高い、利用価値・機会の多いものを造っていくことが必要である。学校ビオトーブの基準も作成すべきであろう。利用面では、年間利用計画を立て教育課程での位置を明確にし、クロスカリキュラムや横断的・総合的な学習のための教材を含め、多領域でのビオトーブの利用をめざした教材の整備を進めていくことが必要である。

なお、この研究の詳細は、「ビオトープの製作 と利用」(鹿の子台小発行、約50頁) にまとめられ、関係機関に配付されている。

鹿の子台総合ビオトープ (共生・ふるさと・夢・安らぎ・体感の広場)

回シンボルツリーゾーン ◎竹林 | ◎四季の植物・樹木・果樹ソーン(カキ、モモ、リンゴ、ユズ等) ◎ササベザクラ **◎**カブト・クワガタの ◎イチゴ関 ビオトープ ◎サツマイモ関 給水 実際は5角形 ジ ¥ ×. タッチ 3个古@ ク ◎水辺の植物ゾ・ ング ゾーン▮☆ 「原風景・景観と水の浄化」 ゾ プール ・古代ハス (アシ、ミツガシワ、クワイ、フトイ ı (大質ハス)』 ハリイ、カンガレイ、ヘラオモダカ) ン ===== ◎トンボ、バッ 』 ◎ ミツパチ タのビオトープ || ビオトープ 日本的 水田 景観ソ ゾーン ーン ・竹の杭 ||・ソバ 「体験と日本 ・ミソハギ ・草地 ||・レンゲ の景観」 ・ショウブ ・アキアカネ ◎野鳥のビオトープ ・ウキクサ ・ホタル ・滝 ・水飲み場 ・カブトエビ ・巣箱・餌台・髙木 ・コオイムシ ・ヒガンパナ ・ナンテン・モチ・クス ===== ◎魚類・ ===== 貝類・両生類ブー @せせらぎ 排水 ゾーン 「共生とその観察」 ・フナ・メダカ・カワムツ・マツカサガ』 「水遊び」 ササノハガイ・ヤリタナゴ・カエル等。 側溝へ→ 芝生ゾーン 石砂泥遊び 流水実験場 飯ごう炊さんターン \triangle \triangle \triangle \triangle \triangle \triangle 並木道 コスモスと菜の花の山、ミンエィレスト 並木道 $\Delta \Delta \Delta$ $\triangle \triangle \triangle$ ※メインビオト -周----辺-ープから離れて ミニビオトープ 各種観察コーナー プールのビオトープ

図 1 施設配置図

<メインビオトープ・施設> ()※は児童募集ネーミングの愛称

- ① (鹿の湖) ※
 - ・大小2本の樹木 ・古代ハスゾーン ・水辺の植物ゾーン ・水田ゾーン
 - ・せせらぎゾーン ・魚類、両生類ゾーン

<サブビオトープ・施設>

- ②タッチングプール ③ノジギク園 ④シンボルツリーコーナー
- ⑤イチゴ、サツマイモ園
- ⑥四季の植物、樹木、果樹コーナー

⑦竹、笹コーナー

- (8)カブト、クワガタのビオトープ
- **⑨ササベザクラコーナー**
- ⑩コスモスと菜の花の山 ・流水実験場(ミニエベレスト)※
- ⑪砂、石、泥遊びコーナー ⑫飯ごう炊さんコーナー
- (3)芝生広場 (緑のじゅうたん) ※と並木道

<サテライトビオトープ・施設>

- 個春、秋の七草コーナー、野草コーナー (6)コスモス、ヒマワリの道
- 60屋上ミニビオトープ

- の展示コーナー
- (8)オリエンテーションコーナー
- (9)プールのビオトープ(トンボフロ

20アジサイ、ハーブ園

- F)

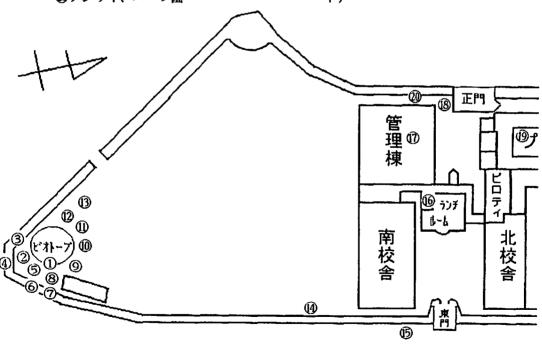


図2 メインビオトープ「鹿の子」概略図